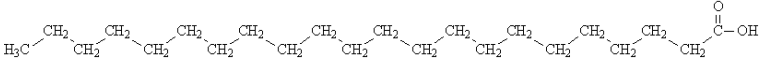


GPS/JIPS 安全性要約書

1. 物質名 (Substance Name)

ドコサン酸 (Docosanoic Acid)

2. 化学的特性(Chemical Identity)

項目	内容
一般名	ドコサン酸、ベヘン酸、ベヘニン酸
化学名	Docosanoic acid, Behenic acid
CAS 番号(CAS RN)	112-85-6
その他の番号	ENCS Number : (2)-608 ISHL Number : (2)-608 Korean ID Number: KE-12775 EC Number: 204-010-8
分子式	$C_{22}H_{44}O_2$
構造式	

3. 使用及び有用性 (Uses and Applications)

- ・ 化学的合成の中間物質
- ・ 潤滑油助剤
- ・ パーソナルケア用途
- ・ ゴム・プラスチックの製造
- ・ 洗剤用途

4. 物理的及び化学的性質 (Physical/Chemical Properties)

項目	内容
外観	粒状
臭い	僅かに特異臭あり
沸点	306°C (at 8.0 k Pa)
蒸気圧	<6.6 x 10 ⁻³ Pa (at 100°C)
融点	79.95°C
引火点	202 – 204°C
オクタノール／水分配係数 (Log P _{ow})	>5.11
比重	0.8211 (at 100/4°C)
可燃性	可燃性なし
分解性	なし
水への溶解性	0.016mg/L (at 25°C)
加水分解性	安定 (half-time>1 year at pH4.0, 7.0, 9.0)
光分解性	50% after 13.7 hours

5. ヒト健康影響 (Health Effects)

消費者：危険な濃度レベルでの曝露はありません。刺激性は少ないが、消費者成分として用いられる場合には許容できる濃度範囲で使用されているものと思われます。

作業員：蒸気圧が低く、水への溶解性も低いために、取扱い作業中での吸入や接触による眼・皮膚・経口によるヒトへの健康影響は少ないと考えられます。目に入った場合には、異物としての刺激性があります。

影響評価	結果 (GHS 区分)
急性毒性 (経口)	分類できない。
急性毒性 (吸入)	分類できない。
急性毒性 (経皮)	区分外
皮膚腐食性／刺激性	分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	分類できない。
皮膚感作性	分類できない。
遺伝毒性／変異原性	区分外
染色体異常試験	区分外
生殖発生毒性	区分外

6. 環境影響 (Environmental Effects)

環境曝露のアセスメントでは、製造から工業用途における全ての段階で安全な放出限界量が定められており、適切なリスクマネジメント手法が定義されています。ドコサン酸は、水への溶解性が殆ど無く、水棲生物に対する蓄積性は無い又は低いと考えられます。また、土壌吸着定数 (KOC) が 1.4×10^5 であり、土壌環境において移動性は殆ど有りません。更に、分解性は良好であるため、公共の排水処置施設や広域環境中での微生物による生分解は大変迅速で効果的であることが知られており、環境中に継続して存在するものではないと考えられます。

影響評価	結果 (GHS 区分)
水生毒性	分類できない。
生分解性	分類できない。
生物濃縮性	分類できない。

環境運命・動態	結果
環境中への移行性	移動性は殆ど無い。
生分解性	生分解性は良好。
生物蓄積性	水棲生物への蓄積性は無い又は低い。

7. 曝露 (Exposure)

影響評価	当社製品の主な用途における曝露の可能性 (曝露経路)
作業者曝露	製造・精製、移し変え、混合作業時に曝露の可能性有り。
消費者曝露	混合物として危険な濃度レベルでの曝露は有りません。
環境曝露	製造 (合成反応、精製)、混合、使用 (パーソナルケア、ハウスホールド製品)、廃棄、流出
注意事項	他の用途での曝露の可能性がある場合には、推奨するリスク管理処置を参考にし、適切な処置を実施して下さい。

8. リスク管理の勧告 (Risk Management Recommendations)

取扱い作業を行う場合には、手・皮膚・眼を保護するために、耐化学薬品手袋、保護眼鏡、防塵マスクを装着して下さい。また、作業場は、静電気対策が成された防爆構造の機器を使用し、適切な換気が成されていることを確認し、一度に大量の粉塵が上がるような使用は避けて下さい。

化学物質を取り扱い、処置、保管する場所では、飲食・喫煙はしないで下さい。

取扱い後は、手、顔等をよく荒い、うがいをして下さい。

9. 応急処置 (First Aid Measures)

化学物質に接触した場合には、手や皮膚を洗って下さい。眼に入った場合には、最低 15 分間水道水で眼を洗い、医師の治療を受けて下さい。

吸入した場合、新鮮な空気の場所に移動し、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

飲み込んだ場合には、水で口の中を洗浄し、コップ 1～2 杯の水を飲ませて下さい。

また、必要に応じて、医師の処置を受けて下さい。この時、被災者に意識が無い場合には、口から何も与えないで下さい。

救護者は、簡易マスク、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用して下さい。

10. 消火処置 (Fire Fighting Measures)

消化剤としては、ABC 粉末消化剤、水噴霧、粉末消化薬剤を使って下さい。

棒状の水は使わないで下さい。

燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれますので、消火作業の際には、煙の吸入を避けてください。消火作業は、火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消化して下さい。製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な処置を行って下さい。

消火作業を行う者は、適切な保護具 (手袋、保護眼鏡、) 防毒マスク等) を着用して下さい。

11. 偶発的放出に対する処置 (Accidental Release Measures)

漏出物が発生した場合には、速やかに大気や水域 (河川や下水等) への汚染の拡大を食い止め、微粉が飛散しないように、静電気対策を講じた電気掃除機 (真空クリーナー) やほうき等により回収して下さい。床に濡れた状態で放置すると滑り易くスリップ事故の原因になりますので注意して下さい。また、漏出物の上をむやみに歩かないで下さい。

12. 廃棄に対する配慮 (Disposal Consideration)

定期的に環境中に排出が無いことを確認して下さい。作業場で環境中に放出された場合、定期的に管理保守点検された排水・廃棄処置を講じて下さい。

作業場外に廃棄する場合、行政当局の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関連法規・法令を遵守し、適切な処理をするように依頼して下さい。

空の汚染容器・包装を廃棄する場合には、内容物を除去した後に、行政当局の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関連法規・法令を遵守し、適切な処理をするように依頼して下さい。

13. 政府機関のレビュー状況 (State Agency Review)

有害性評価	レビュー状況
環境省 生態影響試験	http://www.safe.nite.go.jp/jcheck/direct.do?table_name=seidoku&cas_no=112-85-6
OECD HPV chemicals	http://www.chem.unep.ch/irptc/sids/OECDSIDS/Docosanoic.pdf

14. 法規制情報／分類・ラベル情報 (Regulatory Information / Classification and Labeling)

GHS 分類情報

ハザード項目	無し
注意喚起語	無し
危険有害性情報	水棲生物に毒性

ラベル情報

絵表示またはシンボル	無し
注意喚起語	無し
危険有害性情報	水棲生物に毒性

15. 結論 (Conclusion)

ドコサン酸は、管理された生産現場で使用されており、大部分の消費者向け製品やハウスホールド製品中では低濃度で使用されています。従いまして、ドコサン酸を生産現場や消費者向けおよびハウスホールド製品向けに利用する場合は、安全性データシート (SDS) に従った取扱いを行う限り、ヒトや環境へリスクをもたらしません。

16. 連絡先 (Contact Information within company)

会社名	日油株式会社
住所	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
担当部門	設備・環境安全統括室
電話番号／FAX 番号	03-5424-6670 / 03-5424-1408

17. 発行・改定日 (Date of Issue)

2012年7月18日

18. 免責条項 (Disclaimer)

この製品安全性要約書は、対象となる化学物質の情報を一般社会へ簡単な概要として提供するものです。安全性データシート (SDS) または化学品安全性報告書 (CSR) に代わる文書として作成されたものではありません。記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報、データに基づいておりますが、いかなる保障をなすものではありません。